

SUSTAINABILITY REPORT

2023

株式会社 テルミック 
tel-mic.co.jp



はじめに

ものづくりのエンターテイナーとして

テルミックは、経営理念である「ものづくりのエンターテイナー」として、製造業に携わる人たち全てを楽しく、常にワクワクさせる会社を目指すべく、今後も一歩進んだ取組を発信し、持続的な企業価値の向上に努めて参ります。



会社名 株式会社テルミック

代表者 代表取締役 田中 秀範

所在地 愛知県刈谷市小垣江町永田47

資本金 7500万円

事業内容 金属加工全般、治具部品加工、金型用部品加工
精密部品加工、ライン用パレット加工・組付け
樹脂・アクリル・ゴム加工
各種コーティング・メッキ処理、レーザーマーカ
加工部品の精密寸法測定 他

組織の概要

	刈谷本社	りんくう常滑	知立営業所	島根営業所	合計
従業員	46名	64名	22名	14名	146名
延べ床面積	1,071㎡	4,734㎡	364㎡	262㎡	6,215㎡

※2023年4月30日時点

事業年度 2月1日～1月31日

□登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社テルミック

対象事業所: 刈谷本社

りんくう常滑

知立営業所

島根営業所

活動: 金属加工全般、治具部品加工、金型用部品加工、精密部品加工、
ライン用パレット加工・組付け 樹脂・アクリル・ゴム加工、
各種コーティング・メッキ処理、レーザーマーカ他、
加工部品の精密寸法測定

月次で見る環境負荷

項目	拠点	単位	2023年 合計	第三四半期		
				2月	3月	4月
電力使用量	刈谷	kwh	48,223	20,506	14,693	13,024
	常滑	kwh	38,032	18,028	11,041	8,963
	知立	kwh	6,028	2,415	1,993	1,620
	島根	kwh	3,457	1,311	1,134	1,012
太陽光発電量	常滑	kwh	48,221	12,567	17,062	18,592
水使用量	全拠点	m ²	442	166	112	164
一般廃棄物 排出量	全拠点	Kg	1,267	447	452	368
産業廃棄物 排出量	全拠点	Kg	4,471	450	1,700	2,320

2023年目標

再生可能エネルギー率 **56%**

リサイクル率 **85%**

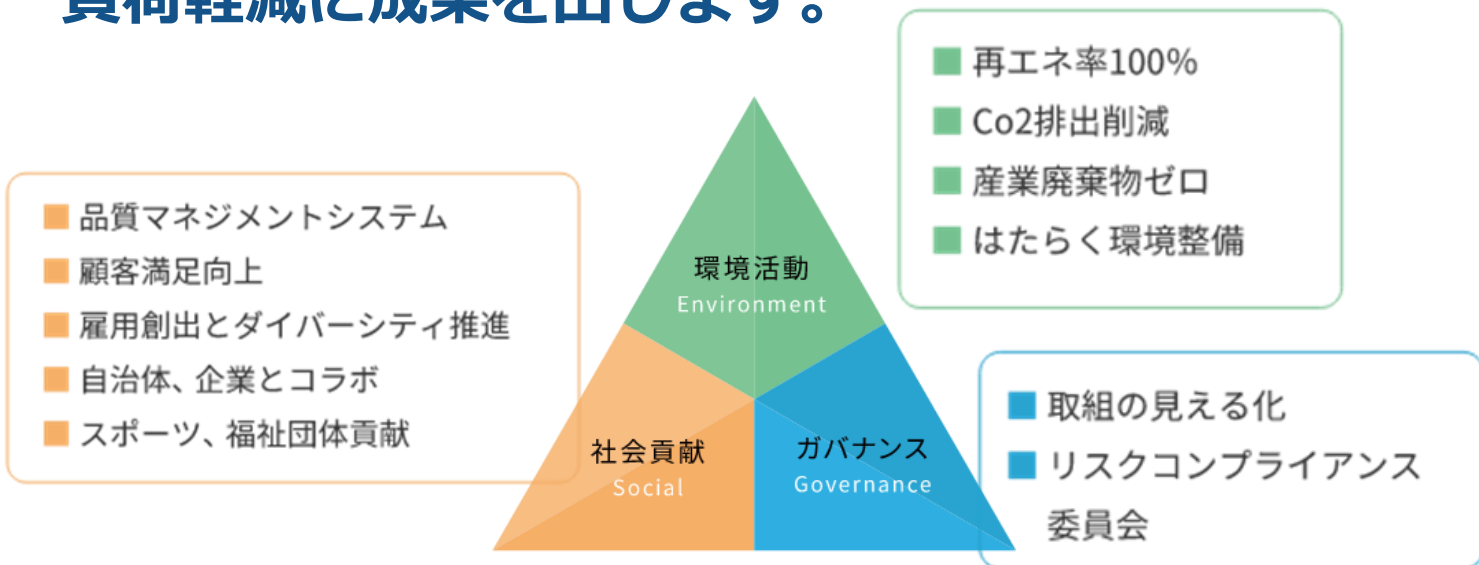


SUSTAINABILITY POLICY

サステナビリティ方針

ESG

環境負荷に配慮したESGへの取り組みを開始
負荷軽減に成果を出します。



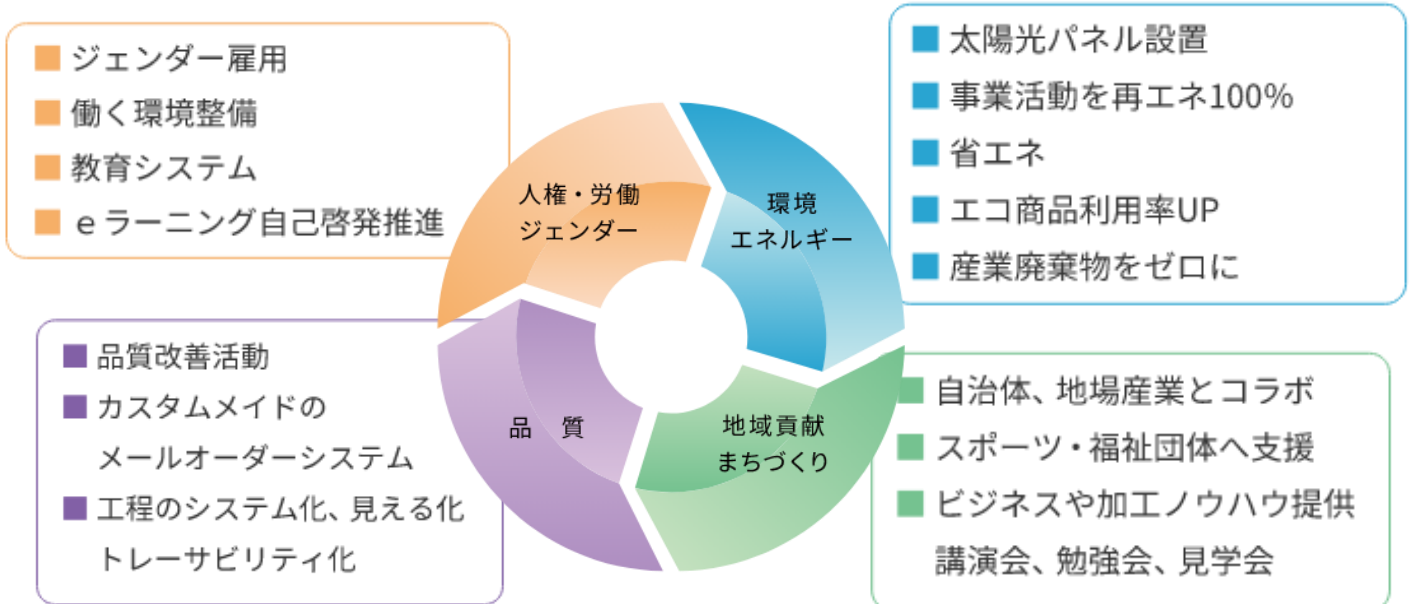
CSR

コーポレートガバナンス体制を実現し
コンプライアンスを遵守していきます。

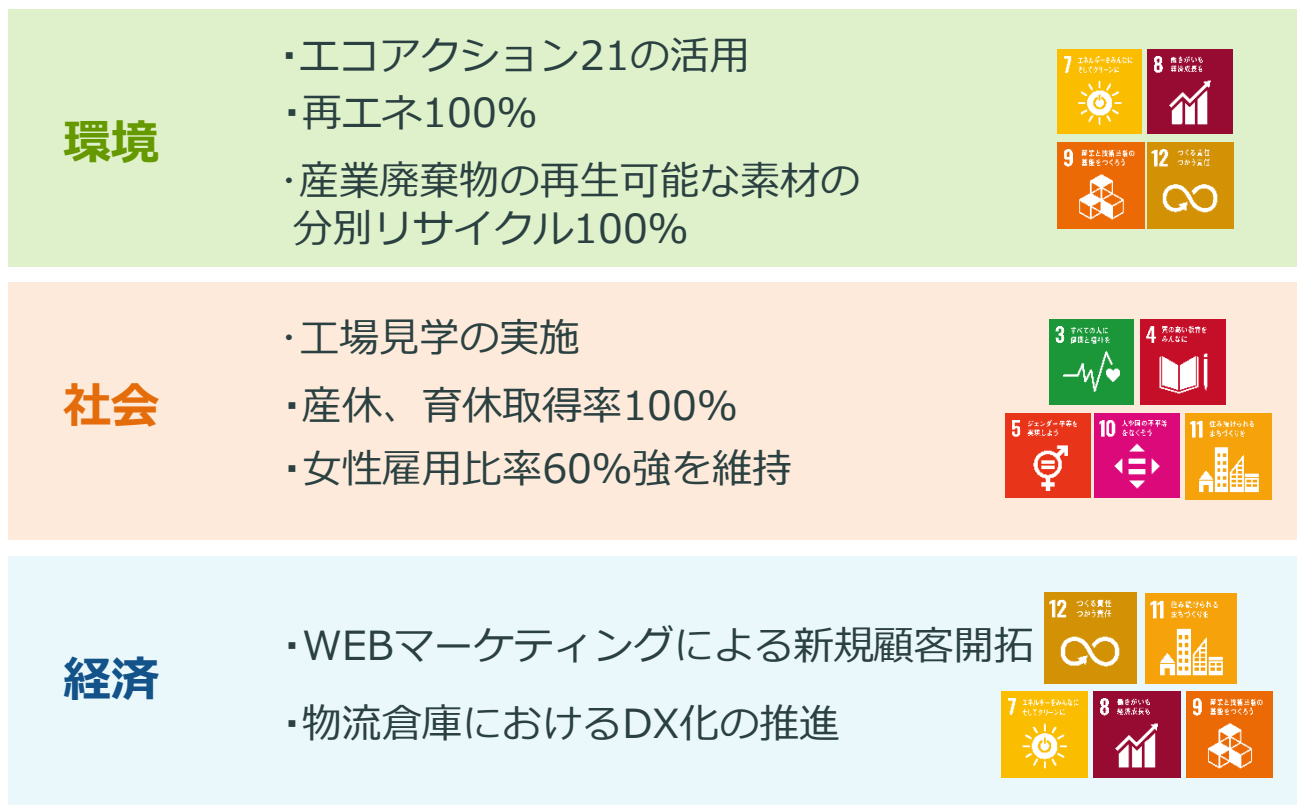
従業員や顧客満足に加え、社会や環境貢献できる新しいビジネスモデル
に変革していきます。

そして地域や業界のプラットフォームの役割を果たしていきます。ス
ピード経営で成果を発信していきますのでご期待ください。

2021年度よりSDGsのチャレンジを宣言しました。 2030年ゴールに向けて成果を出します。



テルミックの2030年に向けたSDGs取組み内容



環境経営理念

事業活動におけるCO2削減は企業の責任です。私たちは、世界規模で取り組んでいる脱炭素活動に賛同し、CO2排出量に応じてグリーン予算を作り、環境活動に投資をしていきます。

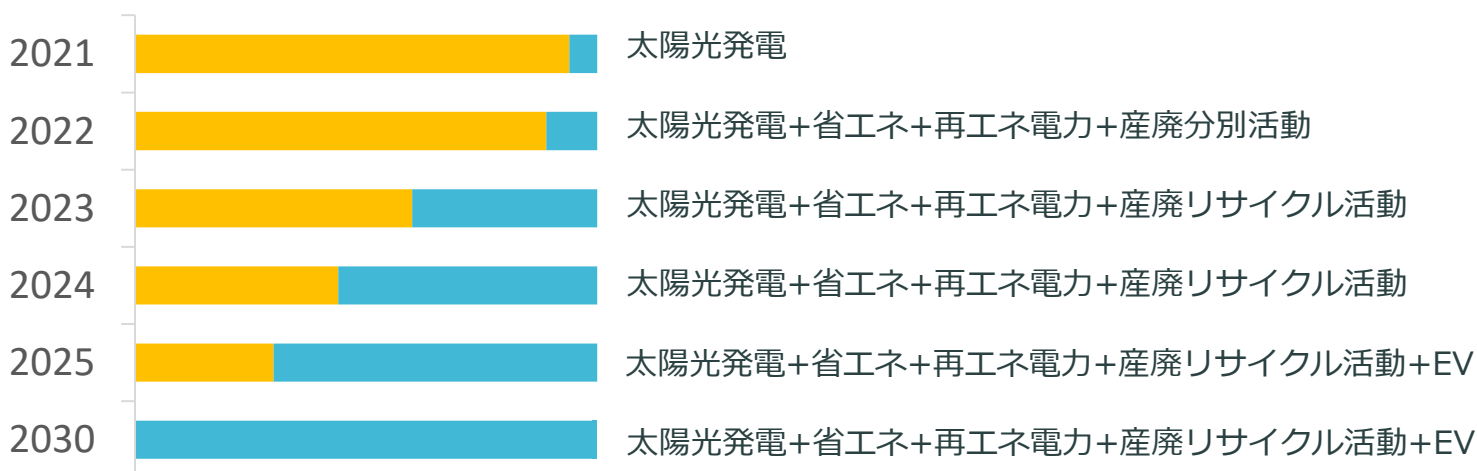
また、2030年までの国際開発目標であるSDGsに積極的に賛同し、取組を通じて持続可能な社会の実現に向けて、外部環境に影響を与えられるような企業を目指します。

環境保全への行動指針と宣言

- ① 再生可能エネルギー率100%
- ② CO2排出削減
- ③ 産業廃棄物ゼロ
- ④ 水使用量削減
- ⑤ 化学物質の適正管理

上記の5項目を取組み、環境法令を遵守し事業活動を推進する事を誓います。

カーボンニュートラルに向けた2030年目標



「環境保全への行動指針と宣言」

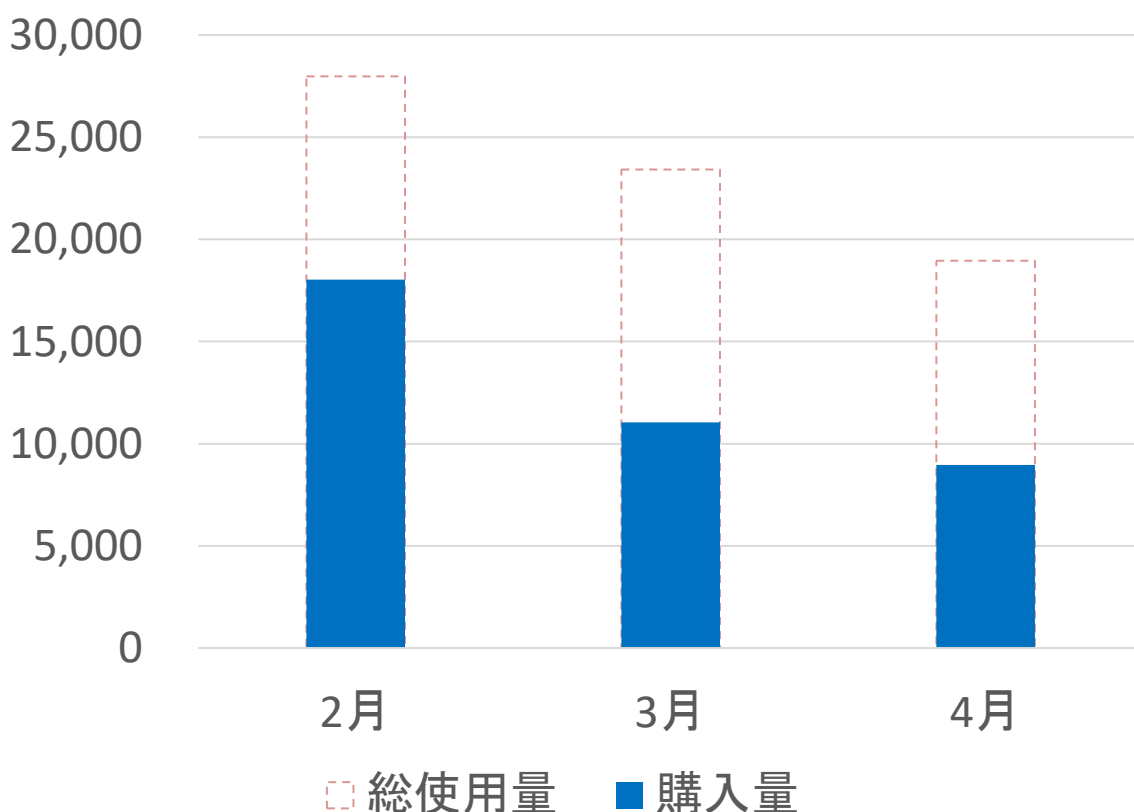
① 再生可能エネルギー率100%

りんくう常滑事業所に太陽光パネル設置

設置済みの刈谷本社に加え
2022年10月にりんくう常滑事業所（事務棟、工場棟）の屋根に
太陽光パネルを390枚設置

太陽光パネル設置により
常滑事業所の再エネ率は平均46%

2023年電力購入量(kwh)

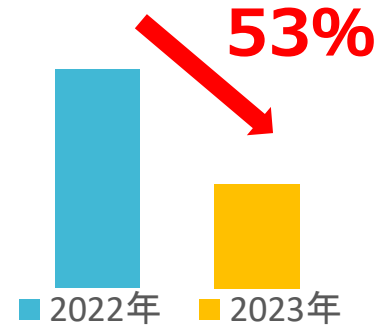


② CO2排出削減

電力による二酸化炭素削減

3つの取組により**昨年度より53%CO2排出量削減**

太陽光パネルの導入
働き方・作業工程見直しによる残業時間の短縮
空気圧縮機のアア漏れ点検



エマネージによる電力自動コントロール

エマネージの導入により4つのポイントが改善

エネルギー使用状況を
設備ごとに把握

省エネのポイントや
問題点の発見

自動でピークカットし
無駄な消費を削減

見える化による従業員の
節電意識向上



CO2フリープランの導入

導入することで利用電力が再生可能
エネルギー100%になります

2030年までに全拠点で導入予定
※現在、刈谷営業所のみ導入



③ 産業廃棄物ゼロ

廃棄物の削減

- ・可燃物の調査、減量活動
- ・廃棄物の分別、リサイクル活動
- ・再生リサイクル業者の開拓
- ・加工不良と顧客クレームの減少



④ 水使用量削減

水道水使用量の削減

以下の取組を実施し、**昨年度より29%水の利用率減少**

- ・洗い物等による水の使用削減
(昼食のメニュー拡大による弁当持ち込み減少)



29%
減

前年度比

⑤ 化学物質の適正管理

化学物質の削減使用料

- ・保管している化学物質の在庫調査
- ・SDSに関する社内教育
- ・有害性物質の表示の徹底、有害物質代替えの検討

環境経営目標と実績及び次年度計画

2023年目標

再生可能エネルギー率 **56%** リサイクル率 **85%**



項目	年度	2021年	2022年		評価	2023年	2024年
		基準年	目標	実績		目標	目標
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	183,385	155,877	143,307		91,693	73,354
	基準年度比		85%	78%	○	50%	40%
原単位	kWh/千円	0.174	0.148			0.087	0.069
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	74	74	14		74	74
	基準年度比		100%	19%	○	100%	100%
原単位	kWh/円						
燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	40,136	39,333	32,855		38,932	38,531
	基準年度比		98%	82%	○	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	223,595	195,285	176,162		130,699	111,959
廃棄物の削減	kg	36,248	32,623	30,136		28,998	25,374
	基準年度比		90%	83%	○	80%	70%
廃棄物の再資源量	Kg	25,749		25,412			
リサイクル率	%	71%	84%	84%	○	85%	
水道水の削減	m ³	925	925	1,282		925	925
	基準年度比		100%	138%	×	100%	100%

カーボンニュートラル移行は2030年ゴールを目指す